

令和 5年 6月 29日

広域振興局長

提出者 ケミコン東日本株式会社 岩手工場

住所 〒024-0073 岩手県北上市下江釣子14地割40番地1

氏名 工場長 菊池 浩二

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	ケミコン東日本株式会社 岩手工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市下江釣子14地割40番地1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,241 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
ケミコン東日本(株) 岩手工場 (旧岩手工場・コイル技術部)	〒024-0073 岩手県北上市下江釣子14地割40番地1	2,792 k0
ケミコン東日本(株)岩手工場製造3課 (旧江釣子工場)	〒024-0074 岩手県北上市滑田20地割90-4	434 k0
ケミコン東日本(株) 岩手西工場 (旧西工場)	〒024-0332 岩手県北上市和賀町堅川目1地割1-77	15 k0

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別紙(別添)を作成の上、添付してください。(A4)





別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の	前年度の	対前年度比 (%) (D-C)/D×100	
					排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )		
燃料及び熱	原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	揮発油	3.0 kℓ	3	2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	7.1	8.2	▲ 13	
	ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	灯油	112.9 kℓ	107	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	281.0	353.8	▲ 21	
	軽油	2.4 kℓ	2	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	6.2	6.3	▲ 2	
	A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t				
	石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	4.8 t	6	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t	14.5	16.5	▲ 12
		石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>		2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO <sub>2</sub> /t			
		その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>		2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO <sub>2</sub> /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO <sub>2</sub> /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO <sub>2</sub> /t			
	石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t				
	コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>		2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>			
		( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )			
		( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )			
	産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ				
	産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ				
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計			118		308.8	384.8	▲ 20	
電気	電気事業者	昼間買電	7607.4 千kWh	1957	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	3712.4	3561.8	4
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	4667.2 千kWh	1201				
		夜間買電	4870.6 千kWh	1166	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	2376.9	2217.3	7
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		12478 千kWh	3123		6089.3	5779.1	5	
合計			3241		6398.1	6163.9	4	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

## 2 地球温暖化対策計画の達成状況

### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

二酸化炭素の排出の状況としては、全体で前年度比約4%増加となった。

各工場別では

- ・岩手工場は 約4%の増加。
- ・製造3課(旧江釣子工場)は約1%の増加。
- ・西工場は 約6%の増加。

目標として掲げていた「資源投入量」原単位低減については、前年度比1%以上改善する取組みを行い全体では前年度比 98.7%となり1.3%改善、目標達成した。

各工場別では

- ・旧岩手工場の原単位は96.8%となり3.2%の改善、目標達成。
- ・製造3課(旧江釣子工場)の原単位は108.1%となり目標未達。目標達成まで9.1%改善する必要がある。

### 【具体的な取組状況】

#### ①電気

##### 岩手工場

- ・照明器具LED化は約1,000台、高効率空調機への更新については9台実施し省エネに繋がった。
- ・空調機室内機熱交換器の目詰まり掃除を夏季冷房需要期前に実施し空調電力抑制に繋がった。
- ・生産設備稼働ライン数を削減・集約し、未使用エリアの照明・空調を停止し電力削減をおこなった。
- ・生産設備で使用しているエアー機器のエア漏れ補修を行い、空気圧縮機電力が抑制された。
- ・正門付近を照らす街路灯に太陽光発電式街路灯を導入した。

##### 製造3課(旧江釣子工場)

- ・昨年度は予算凍結となり実施出来なかったが、照明器具LED化は約100台、高効率空調機への更新は9台実施し省エネに繋がった。
- ・エア漏れ補修を実施しているもののまだ漏れが散見され、空気圧縮機電力抑制に至っておらず補修を継続する。

##### 西工場

- ・材料保管エリアの未使用時に空調停止をおこない電力が抑制された。
- ・前年度まで利用停止していた駐車場を2022年7月より利用再開した事で、夜間の街路灯を点灯する時間が増加し電力使用量がやや増加した。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

## 3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・ダンボール類、古紙・雑誌類、紙くず類、金属くず、木屑、廃プラは分別を徹底し廃棄物削減に取り組んでいる。
- ・コピー用紙は裏紙使用や、複数ページの場合は両面コピーするなど紙の使用量削減に取り組んでいる。
- ・事務用品はグリーンマーク品の購入を推進。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況(岩手工場)

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	2.8 kℓ	2	2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	6.4	7.7	▲ 17		
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	1.8 kℓ	2	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	4.6	4.6	0		
軽油	0.2 kℓ	0	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	4.6 t	6	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t	13.9	15.9	▲ 13	
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>		2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO <sub>2</sub> /t				
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>		2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO <sub>2</sub> /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO <sub>2</sub> /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO <sub>2</sub> /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>		2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計			10		24.9	28.2	▲ 12	
電気	電気事業者	昼間買電	6732.8 千kWh	1732	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	3285.6	3189.5	3
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	4117.8 千kWh	1059				
		夜間買電	4383.6 千kWh	1050	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	2139.2	2013	6
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		11116.5 千kWh	2782		5424.8	5202.5	4	
合計			2792		5449.7	5230.7	4	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況(製造3課:旧江釣子工場)

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	0.3 kℓ	0	2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	111.0 kℓ	105	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	276.4	349.2	▲ 21		
軽油	2.2 kℓ	2	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	5.6	5.6	0		
A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	0.2 t	0	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t				
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>		2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO <sub>2</sub> /t				
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>		2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO <sub>2</sub> /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO <sub>2</sub> /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO <sub>2</sub> /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>		2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計			107	282.0	354.8	▲ 21		
電気	電気事業者	昼間買電	839.1 千kWh	216	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	409.5	356.1	16
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	528.0 千kWh	136				
		夜間買電	462.8 千kWh	111	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	226.8	193	17
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計			1301.9 千kWh	327	636.3	549.1	16	
合計			434	917.3	903.9	1		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)  
1 二酸化炭素の排出の状況(西工場)

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量	前年度の排出量	対前年度比	
					(C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	(D) (t-CO <sub>2</sub> )	(%) (D-C)/D×100)	
燃料及び熱	原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	揮発油	kℓ		2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	灯油	kℓ		2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	軽油	kℓ		2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t				
	石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t		3.00 t-CO <sub>2</sub> /t			
		石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>		2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO <sub>2</sub> /t			
		その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>		2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO <sub>2</sub> /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO <sub>2</sub> /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO <sub>2</sub> /t			
	石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t				
	コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
	その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>		2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>			
		( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )			
		( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )			
	産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ				
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
	小計							
電気	電気事業者	昼間買電	35.5 千kWh	9	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	17.3	16.2	7
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	21.4 千kWh	6				
		夜間買電	24.2 千kWh	6	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	11.8	11.3	4
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
	小計	59.7 千kWh	15		29.1	27.5	6	
	合計		15		29.1	27.5	6	
	※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量	千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
	合計							

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
- 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
- 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。
- 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。
- 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	( )	ℓ	2.32 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
軽油	( )	ℓ	2.58 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
LPG	( )	kg	3.00 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気	( )	kWh	0.488 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	0 (0)			kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項